

ベルフォンテン市から中高生が来鈴しました

7月24日(木)～28日(月)、友好都市のベルフォンテン市から公式訪問団が10年ぶりに鈴鹿を訪れました！！

毎年、夏休みに鈴鹿市から中・高生をホームステイに連れて行く時には、ベルフォンテン市のみなさんにとっても温かく生徒達を受け入れて頂いていますので、今回は、そのお返しができるように、心のこもった受け入れを心がけました。

ベルフォンテンの生徒は全部で19名。引率者が3名でした。引率者のひとり、ライアンさんは、このベルフォンテン相互派遣プログラムで、昔鈴鹿に来たことがある人で、この事業の歴史を感じさせられ感慨深いものがありました。

《7月25日(金)市内視察》

* 市長表敬訪問



メンバー全員が、日本語で立派に自己紹介をした後、ベルフォンテンを紹介する動画を観ながら、プレゼンテーションを聞きました。その後、IFC 代表の Vicci さんが、ベルフォンテン市長からの親書を末松市長に手渡しました。談話の後、派遣生徒達が「アノ雪」の歌を手話入りで披露してくれました。

* 議場見学



* 消防署見学



* 鈴鹿サーキット訪問

鈴鹿と言えば鈴鹿サーキット！なんとちょうどこの日は、サーキットは、8耐ウイークの真最中でした。チームヨシムラから往年の伝説ライダー ケビン・シュワーツが参戦するというので、同じアメリカ人として応援に行きました。ピットの中を見学させてもらったり、コースをガイドしてもらったり、VIP ルームでお弁当を食べたり出来て、あまりの待遇の良さに全員大感激！！とても貴重な体験が出来ました。



* 鈴鹿市の小・中学生との交流会

* 和文化体験



《7月27日(日)フェアウェルパーティ》

何と言っても一番のメインはホームステイ！！ホストファミリーのみなさまには、大変お世話になりました。それぞれの家庭で、とても温かく派遣生を受け入れていただき、色々な場所へ連れて行っていただきました。感謝の気持ちでいっぱいです。

